

令和5年5月22日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題	稲WCSの品質向上のために「収穫基準田」を設置 ～重要管理ポイントと品質との関連性を確認し、今後に生かす～
-----	--

(ダイジェスト)

JA出雲地区本部管内の本年産WCSは昨年産対比で109.1%、133.2haと伸びています。以前から収穫時の水分含量等が課題となっていたことから、改めて栽培こよみで周知すると共に各地域に「収穫基準田」を設置し、適期に収穫作業ができるよう関係者が一丸となって取り組んでいくことにしています。

同管内での栽培は大きく4地域で行われ、生産者は20経営体で田植等の作業は個々で行っていますが、収穫機を所有しているのは7経営体しかなく、これらが全ての収穫作業を行っています。

以前からWCSの品質向上が大きな課題でしたが、面積が増えていく中においては早急に解決していかなければなりません。そこで、「本年産栽培こよみ」には次の重要管理ポイントを大きく書き込み、関係者が一丸となって品質向上に取り組むことにしています。

【重要管理栽培ポイント】

- ① 品質低下に繋がる雑草の徹底防除
- ② 収穫適期（乳熟・糊熟期）に向けた適正な水管理（落水）
- ③ 収穫時の水分含量70%以下の確認と朝露など付着水のない状態での収穫作業
- ④ 異物（泥土・雑草等）混入がない収穫作業
- ⑤ WCSが変形・破損しない運搬作業

しかし、③の「収穫時の水分含量70%以下の確認」は特に大切な事柄ですが生産者にとっては安易に測定することができないことから、前述の7経営体単位で品種ごとに一番早く収穫を行うほ場を「収穫基準田」として設定することにしました。

収穫時には水分含量測定を行い、当該ほ場の収穫適期を判定すると共にその後に収穫するほ場の参考にしてもらうことにしています。また重要管理ポイントの実施状況を把握し、更には発酵後に品質分析を行うことで、重要管理ポイントと品質との関連性を確認し、次年産以降に生かす予定にしています。

